



平成30年7月豪雨への対応

平成30年11月
国土交通省 北海道開発局
留萌開発建設部

1. 気象の状況	1
(1) 上川・留萌地方の天気概況	
(2) 全国の天気概況	
2. 管内の被害の状況と対応	9
(1) 被害の概要	
(2) 河川の状況と対応	
① 河川の状況	
② 河川の対応	
(3) 道路の状況と対応	
① 道路の状況	
② 道路の対応	
3. 留萌開発建設部災害対策本部	18
4. 地域支援	19
5. 広報活動	20

1. 気象の状況（1）上川・留萌地方の天気概況

■ 天気概況

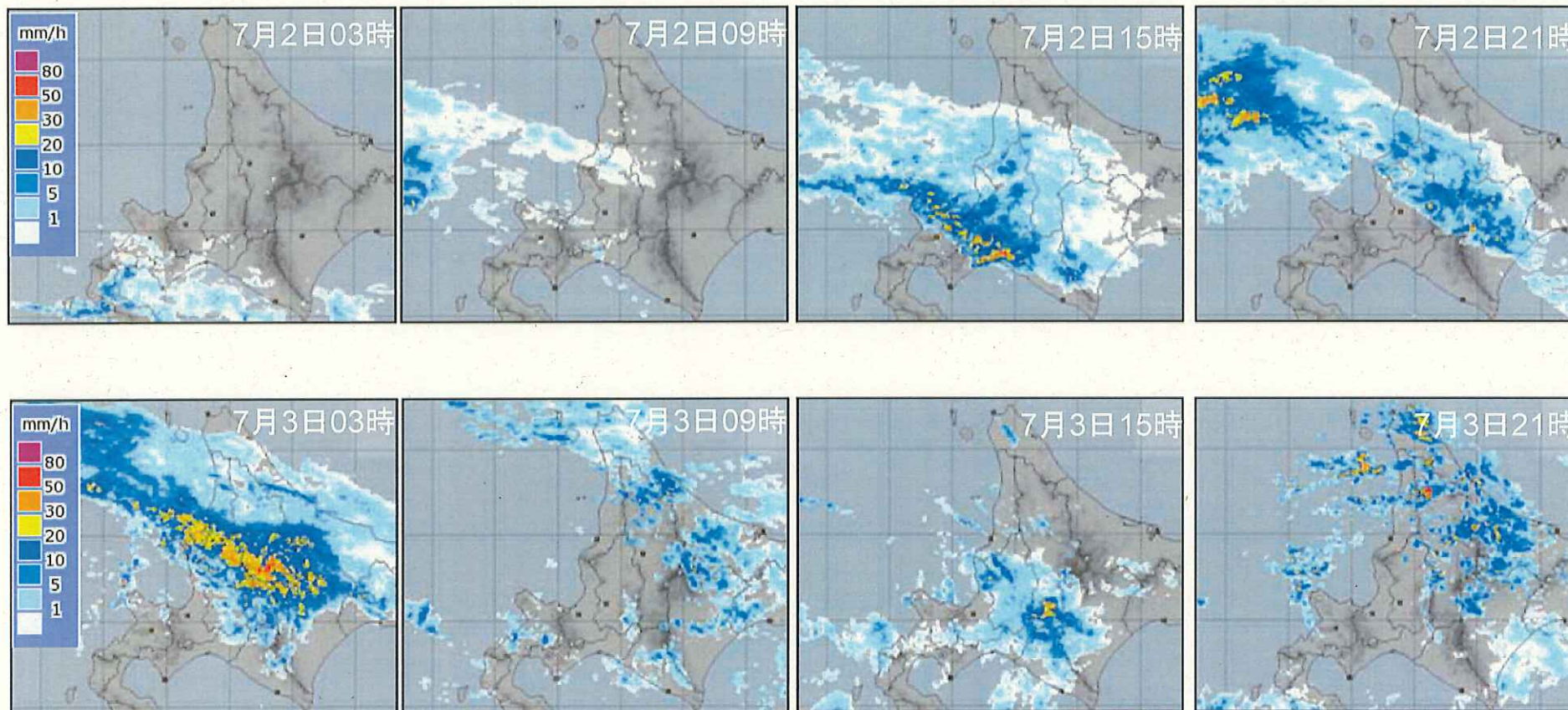
7月2日から4日にかけて北海道付近に停滞する前線に向かって暖かく湿った空気が流入し、大気的不安定な状態となりました。また、5日には台風第7号から変わった温帯低気圧が北海道付近を通過しました。

このため、3日未明から明け方まで留萌南部と上川中部を中心に激しい雨が降り、4日未明から朝までは上川北部・中部と留萌南部で激しい雨が降りました。また、5日には台風から変わった温帯低気圧により上川中部・南部ではやや強い雨が降り、大雨となりました。

上川・留萌地方では、降り始めの2日09時から5日24時までの降水量は、旭川市瑞穂で225.0ミリ、小平町達布で198.5ミリなどで、上川・留萌地方の多くの地点で平年の7月一月分の雨量を上回る大雨となり、日降水量、日最大1時間など、年間及び7月の1位を更新しました。

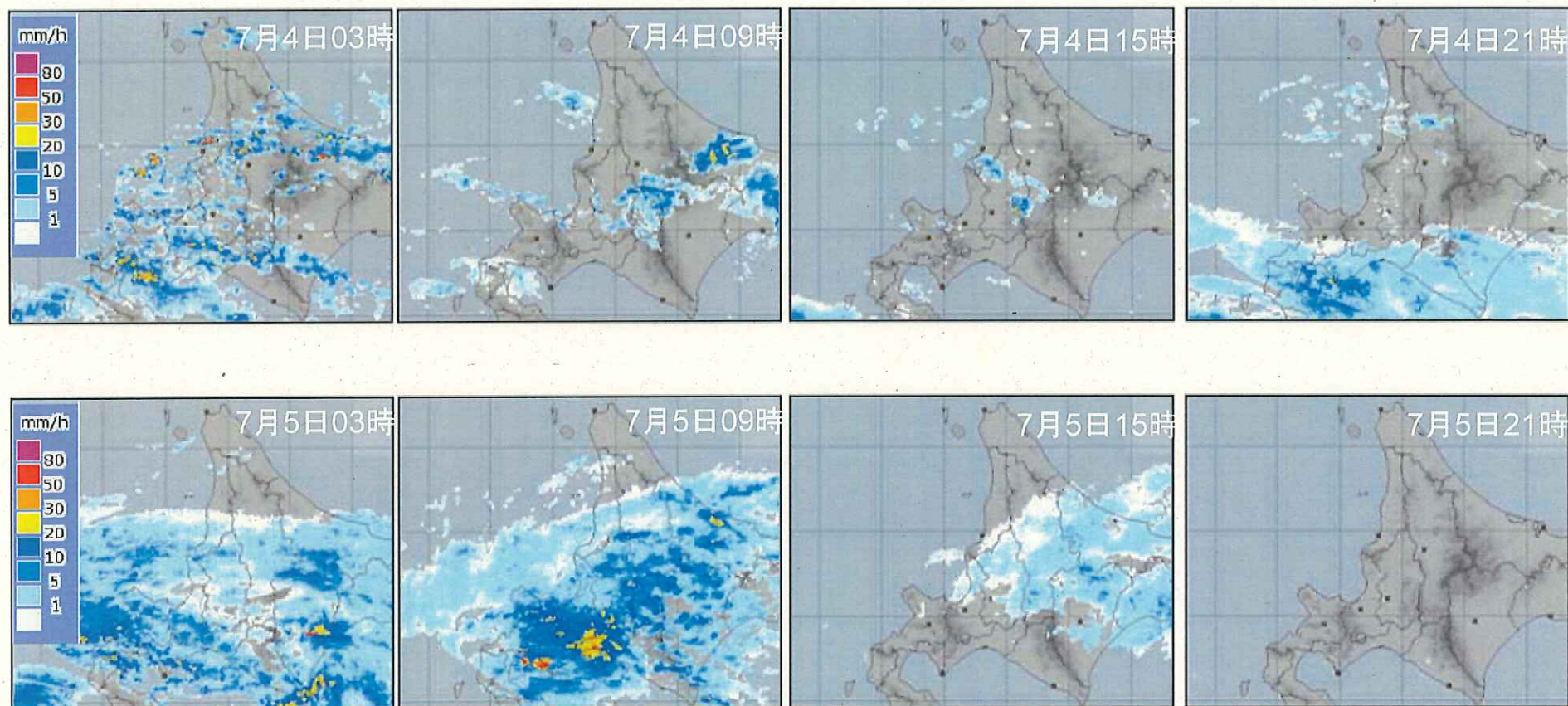
1.気象の状況（1）上川・留萌地方の天気概況

■ 気象レーダーによる雨量(7月2日～3日)



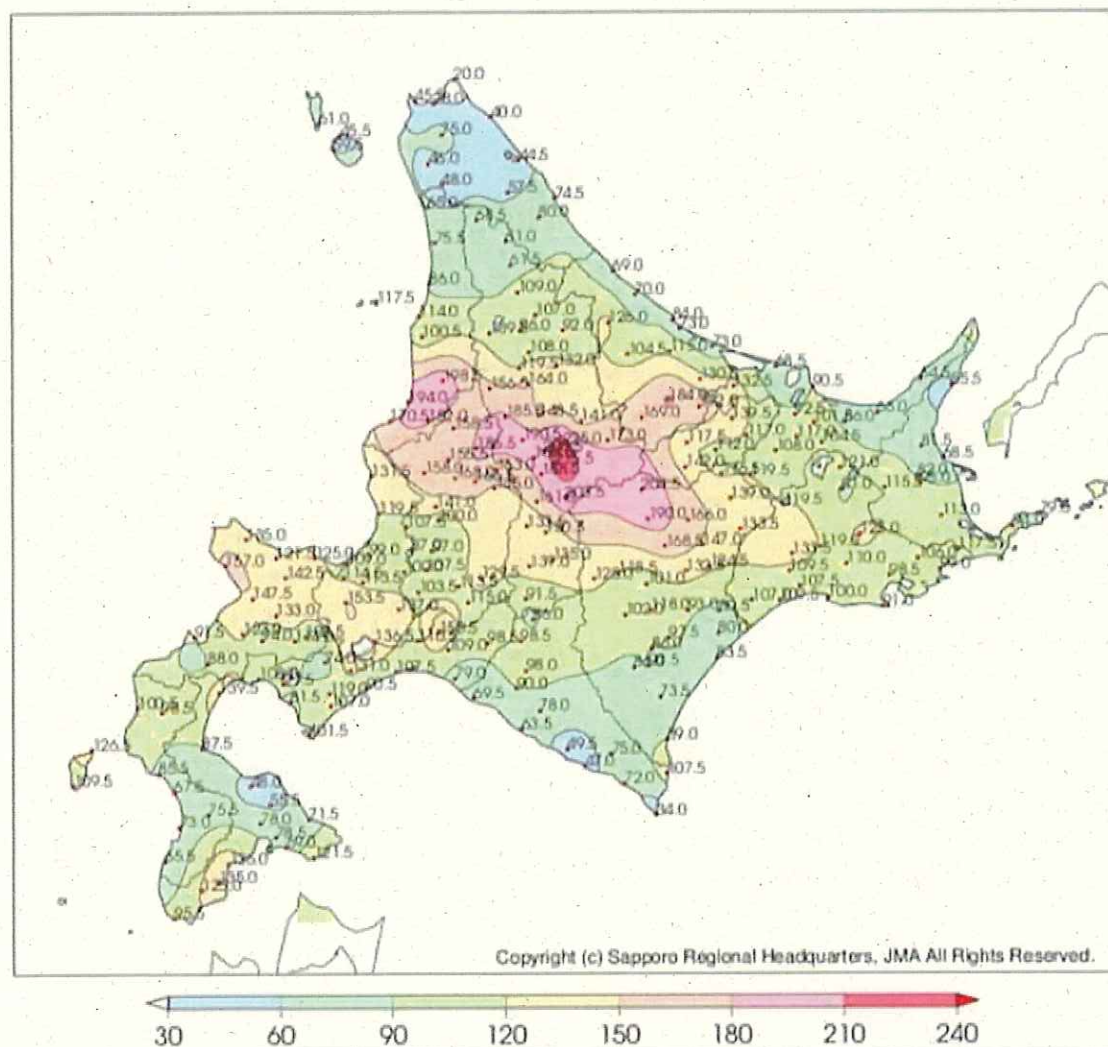
1.気象の状況（1）上川・留萌地方の天気概況

■ 気象レーダーによる雨量（7月4日～5日）



1.気象の状況（1）上川・留萌地方の天気概況

■ 7月2日09時から5日24時までの総降水量(単位mm)



市町村	地点名	降水量合計 (mm)
小平町	達布 (タッブ)	198.5
留萌市	留萌 (ルモイ)	194.0
留萌市	幌糠 (ホロヌカ)	182.0
増毛町	増毛 (マシケ)	170.5
羽幌町	焼尻 (ヤギシリ)	117.5
羽幌町	羽幌 (ハボロ)	114.0

出典:「平成30年7月2日から5日にかけての大雨に関する気象速報」平成30年7月9日 旭川地方気象台

http://www.jma-net.go.jp/asahikawa/sokuhou/sokuhou_file/sokuhou180709.pdf

1.気象の状況（1）上川・留萌地方の天気概況

■ 管内の複数の観測所において、統計開始以来の1位を更新。

■ 24時間降水量の日最大値で、『年間の1位』を更新

市町村	地点名	24時間降水量の日最大値(mm)
留萌市	留萌(ルモイ)	146.0 (7月3日12:30までの24時間)

※ 2011年9月3日とタイ記録。

■ 24時間降水量の日最大値で、『7月の1位』を更新

市町村	地点名	24時間降水量の日最大値(mm)
小平町	達布(タップ)	122.5 (7月3日23:20までの24時間)
増毛町	増毛(マシケ)	123.0 (7月3日11:30までの24時間)
留萌市	幌糠(ホロヌカ)	143.0 (7月3日10:00までの24時間)

1. 気象の状況（1）上川・留萌地方の天気概況

- 留萌市、増毛町、小平町において、大雨警報と洪水警報が同時に継続。一度解除された後にも再度、発令されました。
- 大雨警報(土砂災害)が発令されている状況で、土砂災害発生危険度がさらに高まったときに、市町村長の避難勧告や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報(土砂災害警戒情報)も発表されました。

留萌地方

市町村	遠別町			天塩町			苫前町			羽幌町			天売焼尻			初山別村			留萌市			増毛町			小平町		
	大雨警報		洪水 警報	大雨警報		洪水 警報	大雨警報		洪水 警報	大雨警報		洪水 警報	大雨警報		洪水 警報	大雨警報		洪水 警報	大雨警報		洪水 警報	大雨警報		洪水 警報			
	土砂 災害	浸水 害		土砂 災害	浸水 害		土砂 災害	浸水 害		土砂 災害	浸水 害		土砂 災害	浸水 害		土砂 災害	浸水 害		土砂 災害	浸水 害		土砂 災害	浸水 害				
7/3 1:21																	●	●	●			●			●		
7/3 2:17								●									○	○	○	●		○			○		
7/3 2:51								○									○	○	○	○		○	●		○		
7/3 5:35								○			●						○	○	○	○		○	○		○		
7/3 9:25			●					○			○						○	解	○	○		○	○		○		
7/3 17:05			解					解			解						○		解	解		解	解		解		
7/3 22:12														●			○										
7/3 2:45							●							○			○						●				
7/4 4:09							○							○			○			●		○		●			
7/4 10:14							解							解			解			解		解		解			
7/5 3:20																	●			●			●				
7/5 11:24																	解			解			解				

●:発表 ○:継続 解:解除 空欄:警報の発表なし

発表月日	発表時刻	情報名
7月3日	2時46分	留萌地方土砂災害警戒情報 第1号【警戒対象地域】留萌市
	13時05分	留萌地方土砂災害警戒情報 第2号【警戒解除地域】留萌市
7月4日	4時45分	留萌地方土砂災害警戒情報 第1号【警戒対象地域】増毛町
	9時10分	留萌地方土砂災害警戒情報 第2号【警戒解除地域】増毛町

出典:「平成30年7月2日から5日にかけての大雨に関する気象速報」平成30年7月9日 旭川地方気象台

http://www.jma-net.go.jp/asahikawa/sokuhou/sokuhou_file/sokuhou180709.pdf

1. 気象の状況（2）全国の天気概況

■「平成30年7月豪雨」(平成30年(2018年)6月28日～7月8日)の概要

6月28日以降、華中から日本海を通過して北日本に停滞していた前線は7月4日にかけて北海道付近に北上した後、7月5日には西日本まで南下してその後停滞しました。また、6月29日に日本の南で発生した台風第7号は東シナ海を北上し、対馬海峡付近で進路を北東に変えた後、7月4日15時に日本海で温帯低気圧に変わりました。

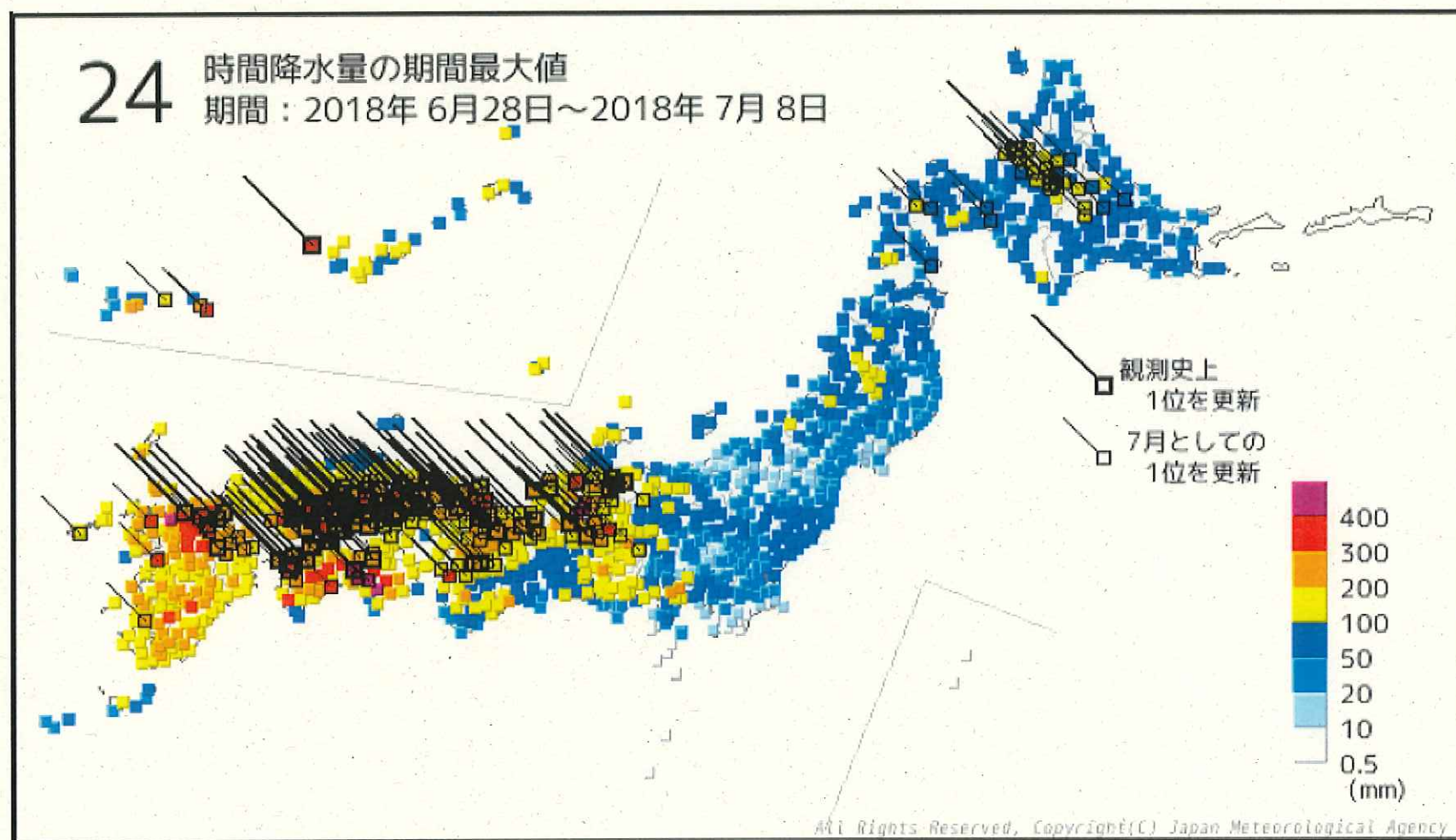
前線や台風第7号の影響により、日本付近に暖かく非常に湿った空気が供給され続け、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となりました。

6月28日から7月8日までの総降水量が四国地方で1800ミリ、東海地方で1200ミリを超えるところがあるなど、7月の月降水量平年値の2～4倍となる大雨となったところがありました。また、九州北部、四国、中国、近畿、東海、北海道地方の多くの観測地点で24、48、72時間降水量の値が観測史上第1位となるなど、広い範囲における長時間の記録的な大雨となりました。

この大雨について、岐阜県、京都府、兵庫県、岡山県、鳥取県、広島県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県の1府10県に特別警報を発表し、最大限の警戒を呼びかけました。(以下略)

1.気象の状況（2）全国の天気概況

■ 24 時間降水量の期間最大値の分布図(6 月28 日0 時～7 月8 日24 時)



2.管内の被害の状況と対応 (1)被害の概要

人的被害	報告なし
住家被害	床上浸水 1棟 (増毛町1) 床下浸水 13棟 (留萌市11、増毛町1、小平町1)
非住家被害	床上浸水 1件 (増毛町1) その他浸水 1件 (増毛町1)
河川の状況	河川氾濫: 国管理河川 1河川 (留萌川) 道管理河川 5河川 (留萌川、十二線川、タルマップ川、三毛別川、ホン沖内沢川)
道路の状況	道路被害: 国道231号、232号 道道大楸線、幌糠小平(停)線、留萌小平線 総規制数: 国道 3路線 3区間 道道 13路線14区間

■ 避難指示(緊急)

振興局	市町村	地区	対象世帯数	対象人数	発令日時		解除日時		理由
留萌	留萌市	幌糠町	79世帯	172人	7/3	7:00	7/3	17:10	河川水位上昇のため
		藤山町	60世帯	102人	7/3	7:00	7/3	17:10	
		留萌村（峠下）	7世帯	15人	7/3	7:00	7/3	17:10	
計			146世帯	289人					

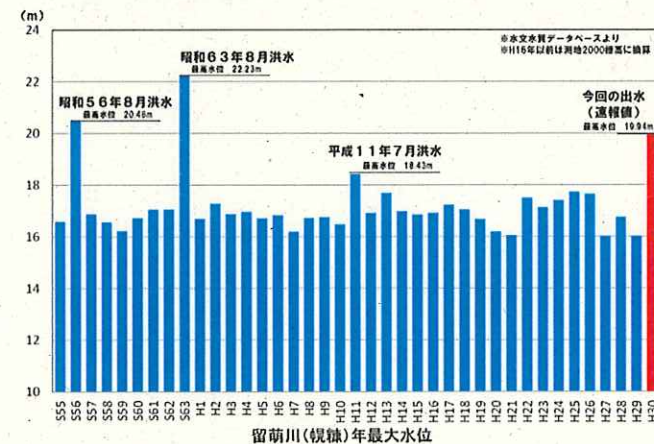
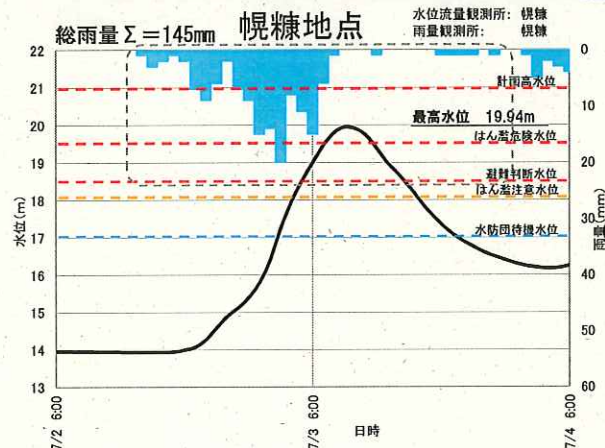
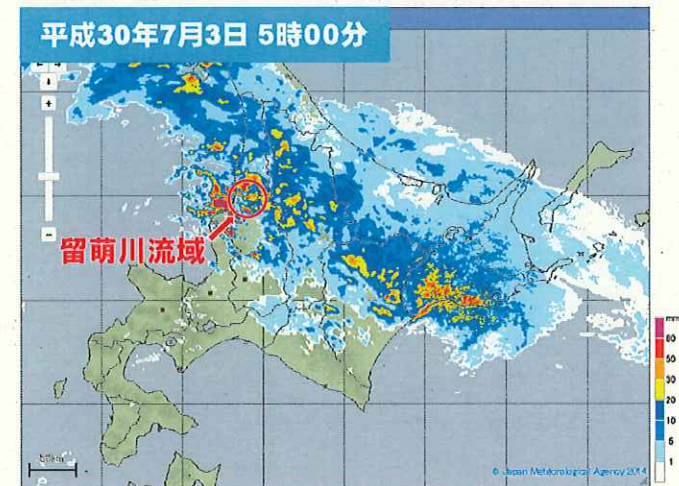
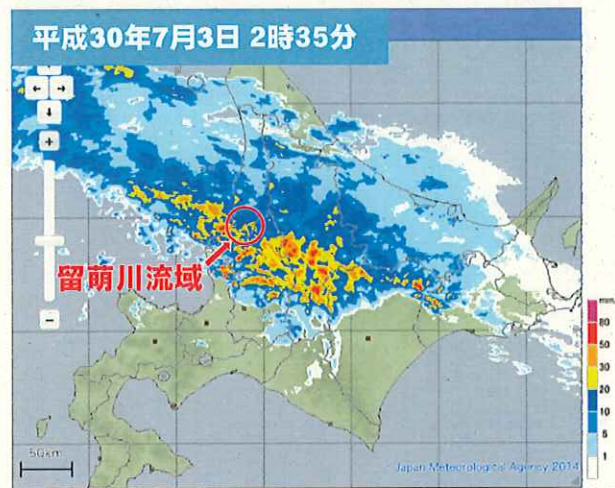
■ 避難勧告: 留萌市 大和田 119世帯・205人、瀬越町 61世帯・105人

2.管内の被害の状況と対応 (2)-①河川の状況

留萌川水系 留萌川流域の雨量状況

※本数値は、速報値であるため変更となる可能性があります。

■ 留萌川では、7月2日から大雨の影響により、留萌川流域で激しい雨が降りました。流域の幌糠雨量観測所では1時間に20mmを観測しました。

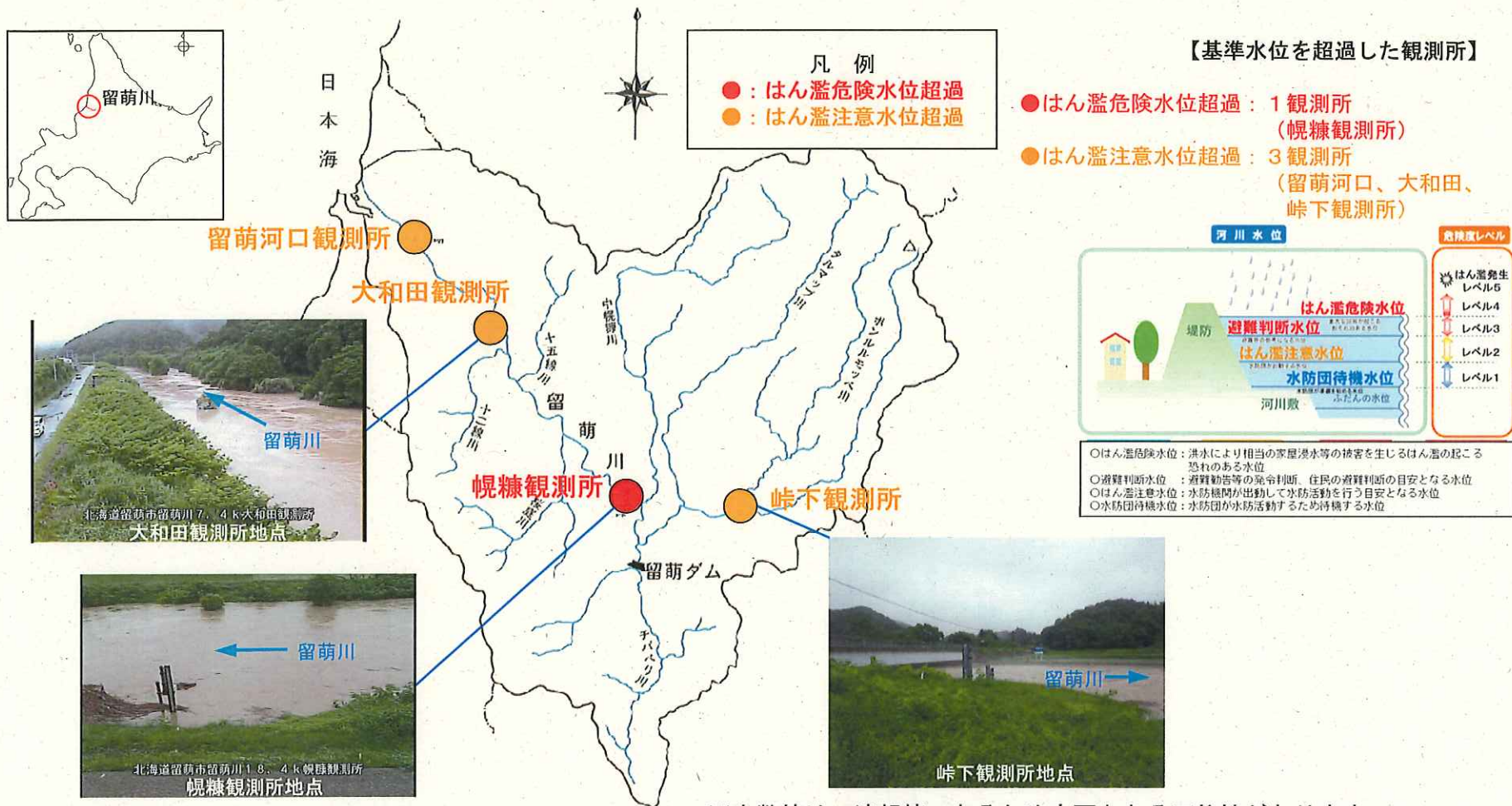


出典:「平成30年7月2日から大雨による出水の概要(速報版)」平成30年7月4日 北海道開発局留萌開発建設部

<http://www.hkd.mlit.go.jp/rm/saigai/c2dl9l00000006qe-att/dfvnau00000060hg.pdf> 10

2.管内の被害の状況と対応 (2)-①河川の状況

■ 平成30年7月2日からの大雨により、留萌川の水位観測所全4箇所の内、はん濫危険水位 超過1観測所、はん濫注意水位超過3観測所となり、全ての水位観測所において基準水位を上回りました。



※本数値は、速報値であるため変更となる可能性があります。

出典:「平成30年7月2日からの大雨による出水の概要(速報版)」平成30年7月4日 北海道開発局留萌開発建設部
<http://www.hkd.mlit.go.jp/rm/saigai/c2dl9l00000006qe-att/dfvnu00000060hg.pdf>

2.管内の被害の状況と対応 (2)-①河川の状況

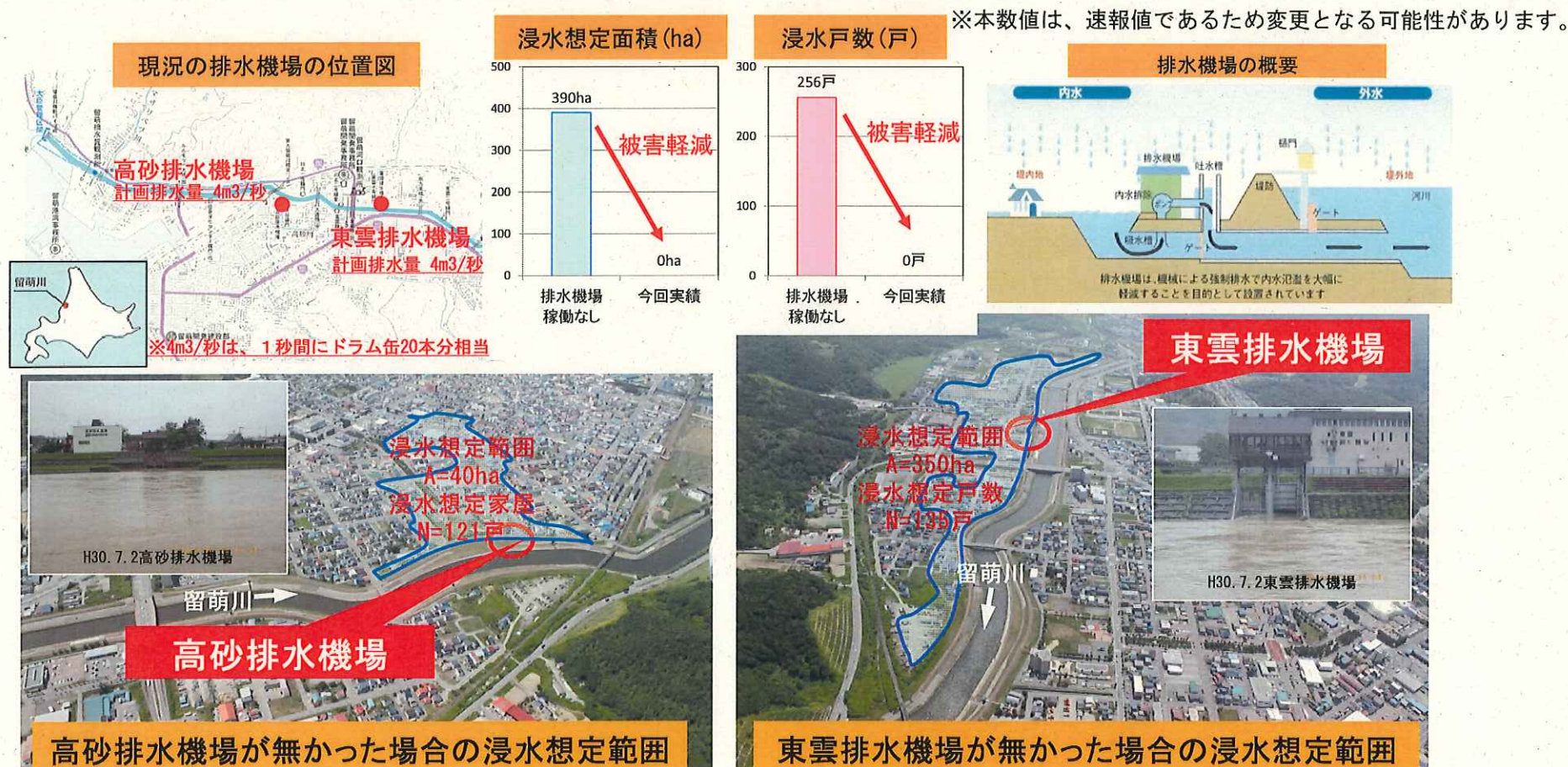
■ 平成30年7月2日からの大雨により、留萌川の峠下地区では水田の一部に浸水(面積 0.7ha)が発生しました。また、留萌川の各地点においても河川の水位が上昇しましたが、これまで進めてきた河川整備や洪水調節施設によって出水時の水位低下等を図ることができました。



※本数値は、速報値であるため変更となる可能性があります。

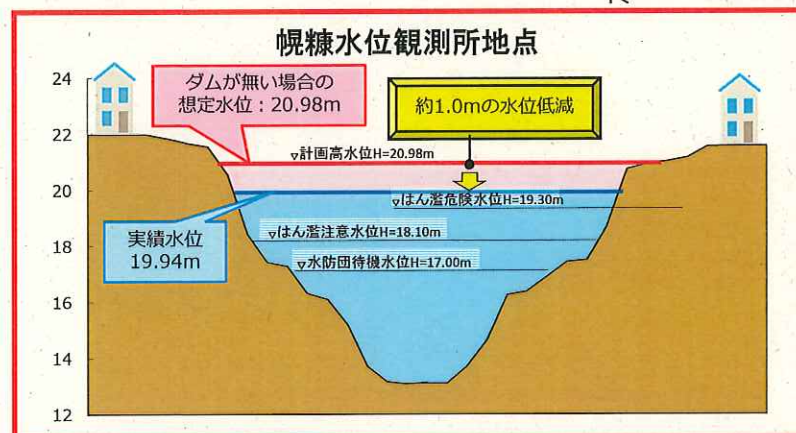
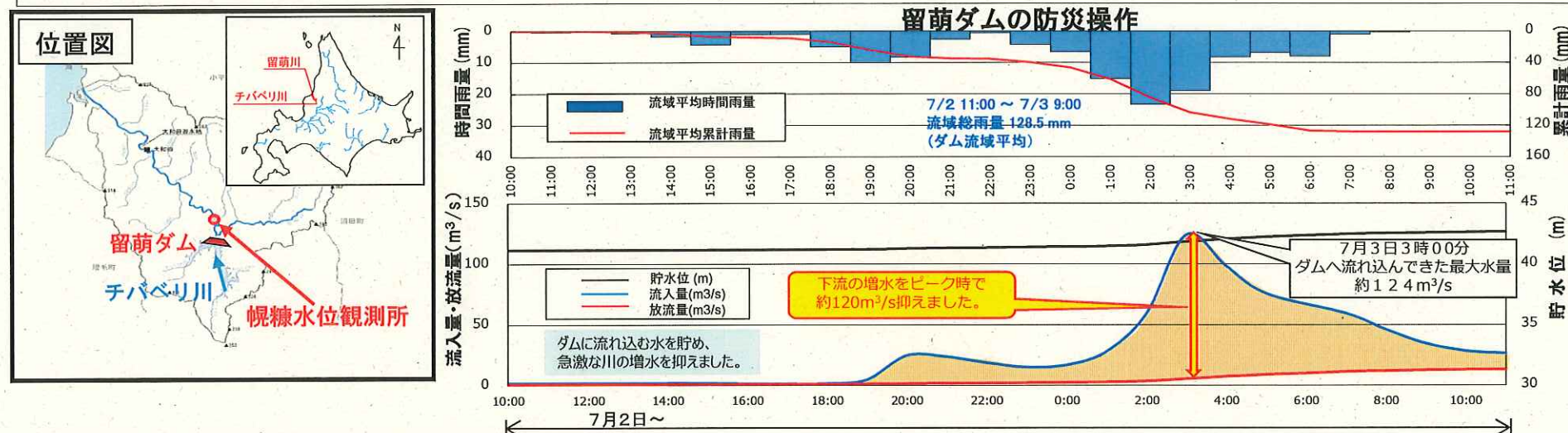
2.管内の被害の状況と対応 (2)-②河川の対応

- 留萌川では、昭和56年8月洪水及び昭和63年8月洪水により留萌市街地での内水氾濫被害を受け、高砂排水機場(昭和61年完成)、東雲排水機場(平成13年完成)を整備しました。
- 平成30年7月3日の出水により、高砂排水機場が約7時間稼働、東雲排水機場が約13時間稼働し、2機場合わせて約20万 m^3 の内水排除を実施、仮に排水機場が無い場合、市街地約390ha、約256戸の家屋が浸水したと想定されます。



2.管内の被害の状況と対応 (2)-②河川の対応

- 平成30年7月2日からの大雨による出水により、留萌ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測。
- 留萌ダムの洪水調節等によって下流河川の水位低減を図り、下流の留萌市(幌糠観測地点)では、約1.0mの水位低減することができたと想定されます。仮にダムが無い場合、下流の藤山地区において、面積21ha、家屋6戸が浸水したと想定されます。



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

出典:「平成30年7月2日からの大雨による出水の概要(速報版)」平成30年7月4日 北海道開発局留萌開発建設部

<http://www.hkd.mlit.go.jp/rm/saigai/c2d9i000000006qe-att/dfvnu000000060hg.pdf> 14

2.管内の被害の状況と対応 (3)-①道路の状況

■ 国道232号 ～小平町字花岡～被災の概要

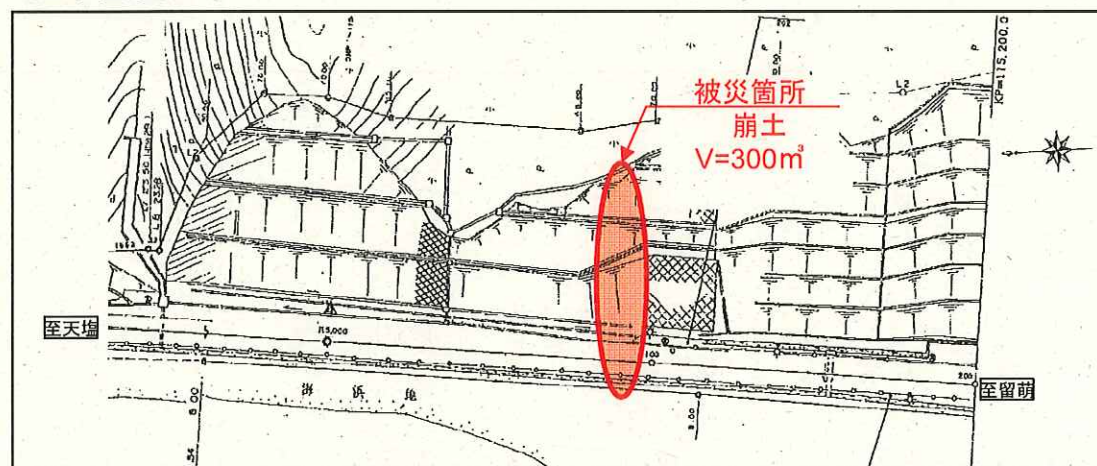
短時間に多量の降雨が、崩壊箇所背後の浅い谷地形の自然斜面に浸透し、強風化部の地盤にみず道を作ったことが原因で崩壊に至ったと推察されます。

斜面崩落の規模：平均幅15m、斜面長10m、最大厚さ2m、体積300m³

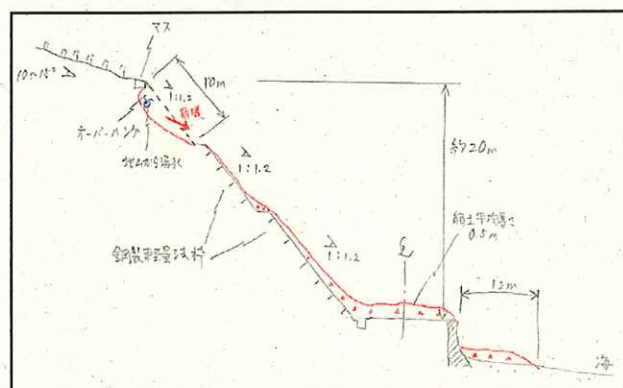
○位置図



○平面図



○被災状況断面図



○被災状況写真



○有識者検討会状況写真



2.管内の被害の状況と対応 (3)-①道路の状況

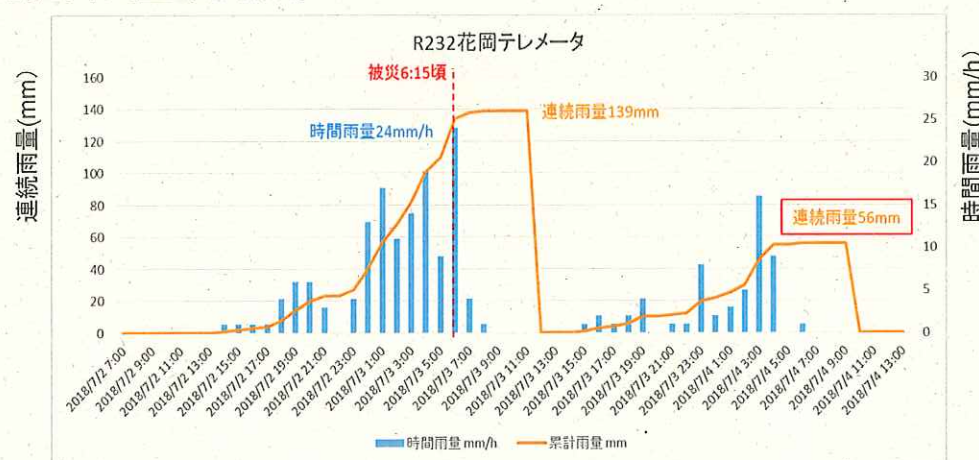
■ 被災の状況

7月3日(火)の通行規制後に斜面崩落が発生しました。(通行規制開始:AM6:00、斜面崩落:AM6:15頃)
その後、7月6日(金)に片側交互通行により通行止めを解除し、7月12日(木)に2車線を確保して通行規制も解除しました。

【被災状況一覧】

発生日時	平成30年7月3日(火) 6時15分頃 民間の道路パトロール委託業者が発見
発生場所	一般国道232号 留萌郡小平町字花岡
災害規模	斜面崩落(規模:平均幅15m 斜面長10m 最大厚さ2m 体積300m ³)
被災状況	人的被害なし
規制状況	7/3(火) 6時～通行止、7/6(金) 10:30～片交規制、7/12(木) 17時～解除
気象状況	小平町に大雨警報(土砂災害)、洪水警報、雷、濃霧注意報発表中

【花岡雨量観測所】



被災写真(全景)



被災写真(正面)

2.管内の被害の状況と対応 (3)-②道路の対応

■ 被災の応急復旧内容

交通解放(1車線確保)

オーバーハング部



7/3～7/6 AM10:30の作業

- ①土砂と附属物の分別
- ②啓開作業(土砂撤去)
- ③落石防護柵の設置



交通解放(2車線確保)

ブルーシート



7/6～7/12 PM5:00の作業

- ①オーバーハング部の除去
- ②土砂撤去
- ③落石防護柵の移設
- ④ブルーシートで斜面養生



3.留萌開発建設部災害対策本部

■ 留萌開発建設部災害対策本部

留萌開発建設部では、7/3(火)6:40に「平成30年7月2日からの大雨による災害対策本部」を設置しました。7/6(金)までに計7回の会議を開催し、管内の情報収集、被災箇所への対応策を検討しました。

第1回 7/3 8:00
第4回 7/4 10:00
第7回 7/6 11:00

第2回 7/3 11:30
第5回 7/4 16:00

第3回 7/3 16:30
第6回 7/5 11:00



国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

「世界の北海道」を目指して
北海道総合振興計画一
標 本 機 関 各 位
平成 〇 〇 年 7 月 〇 日
留 門 町 民 生 活 部 広 報 室
電話 0164-42-2393

「留萌開発建設部 平成30年7月2日からの
大雨による災害対策本部」の設置について

留研開発環境部では、平成30年7月2日から大雨による災害に対処するため、下記のとおり災害対策本部を設置しましたので、お知らせします。

- 記
- 1 名 称 : 留研M&E建設部 平成30年7月2日から大雨による災害対策本部
 - 2 本 部 長 : 留研M&E建設部長 船木 洋博
 - 3 設置場所 : 留研M&E建設部 災害対策室 (3階)
 - 4 設置日時 : 平成30年7月3日 (火) 6時40分

※ 北海道防災局の「災害・防災情報」のサイトでは、災害時に必要な情報を取りまとめたて掲載しておりますので、災害情報については、こちらを併せて御確認ください。
<http://www.hokkaido.go.jp/saihai/4974700000050c.html>

【主なサイトの紹介】

- ・「国土交通省 川の防災情報」・全国のレーダー雨量、河川洪水予報、河川水位等
- ・「北海道地区道路情報」・北海道内の国道・道道の通行止の情報等
- ・「ナウファス（全国気象海洋波浪情報提供：NOFPHAS）」・全国の気象の冷やや暖の割合等
- ・「北海道気象情報（北海道気象データ表示システム）」・道内の気象の冷やや暖の割合等

【問合せ先】国土交通省 北海道民局 留萌開発建設部
防災対策官 松本 政徳（電話 0164-42-2731）
広報官 星 成彦（電話 0164-42-2393）
留萌開発建設部ホームページ <http://www.hdd.mlit.go.jp/>
公式ツイッター/twitter アカウント @mlit_hdd



4. 地域支援

- 国土交通省職員を地方公共団体へ、災害情報等の情報収集、災害対策の支援等のため、リエゾン（災害対策現地情報連絡員）として派遣しました。

○派遣先及び人数

留萌市2名、留萌振興局2名

- 大雨の状況や今後の見通し等を市町村長等へ直接電話（ホットライン）で伝えました。

留萌市役所の打ち合わせに参加



結果として支援はありませんでしたが、検討及び調整を行った事柄

- ・幌糠地区の断水発生による給水支援
- ・住宅浸水箇所等への排水ポンプ車の排水支援

市町村長へのホットライン



5. 広報活動

■ 今回の大雨による災害においては、7月3日～12日に10回11件の報道発表を行い、うち5件についてツイッターを利用した情報発信をしました。

また、7月3日～6日には、一般・報道機関などからの電話対応をしました。

報道発表一覧

月 日	時刻	発表内容	備考
7月 3日(火)	9:15	災害対策本部設置	
	11:30	国道通行止め情報(第1報)	
	18:45	国道通行止め情報(第2報)	
	23:30	国道通行止め情報(第3報)	
	11:45	国道通行止め情報(第4報)	ツイッター発信
	16:30	国道通行止め情報(第5報)	ツイッター発信
		出水の概要(速報版)	ツイッター発信
7月 6日(金)	9:45	国道通行止め情報(第6報)	
7月 9日(月)	11:00	災害対策本部廃止	
7月10日(火)	9:30	国道夜間通行止め	ツイッター発信
7月12日(木)	16:00	国道対面通行	ツイッター発信

